

まつかわベンチマーク（松川町第4次総合計画進行管理表）を公表します！

平成22年4月 総務課企画財政係

松川町第4次総合計画は、「人の和のある協働のまち」をまちづくりの将来像として目指し、平成18年度を初年度として今後5年間の基本的な方針を示すものとして前期基本計画（H18～22）が策定されました。この中で設定されている数値目標を、行政評価を活用して検証し、計画の進行状況を管理していきます。

ベンチマーク(Benchmark)とは、ものごとを計測する際の基準や計測することを指します。ここでは、計画目標値を基準として現状数値と比較することで、計画の達成度合いを確認しています。

・達成率は原則として次の算式により算出しています。 H21実績値／H22目標値

☆達成率100%以上の指標数 = 27（全70指標のうち約4割）

★達成率80%以上の指標数 = 55（全70指標のうち約8割）

*前期基本計画は最終年度を迎え、本年度は後期基本計画の策定に取り組みます。計画策定に際しては、数値に表れない部分についても目的の達成状況と今後の課題について、評価分析を行ってまいります。

第1章 新たな協働の地域づくりに取り組む まち

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(1) 地域で支えあ う協働のまち づくり (地域協働)	まちづくり懇談 会の参加者数 (人)	1,678	1,460	1,441	1,103	1,256	4,000	31%	まちづくり懇談会は、出前講座を同時開催するなどにより参加者数は微増となった。引き続き、話し合える場となるよう充実を図る。後期基本計画策定や自治基本条例検討の参考とするため、まちづくり委員会(仮称)を開催し町民参加の場を拡充する。町民提案型まちづくり事業は積極的に活用されているが、新たな芽が育ち継続につながるかが今後の課題となる。
	町民提案型ま ちづくり事業の 実施件数(件)	-	-	-	8	5	10	50%	
(2) 情報を積極 的に発信する 地域づくり (地域情報の 発信)	町ホームページ のアクセス件数 (件)	37,000	79,394	74,708	85,000	78,802	60,000	131%	HPアクセス件数は、リニューアルした20年度に比べ減となったが、定期的に更新を行うことで、最新情報の提供に努めている。広報誌についても掲載内容等の研究・改善を行うが、新しい広報誌の仕組みを考える必要がある。まちづくり出前講座は、まちづくり懇談会と共催することで効果が表れており、今後も継続していく。
	まちづくり出前 講座の開催回 数(回)	50	85	163	197	182	90	202%	
	チャンネルYOU の加入者数 (戸)	3,396	3,509	3,347	3,365	3,334	3,520	95%	
(3) あたたかな人 の和づくり (コミュニティ)	自治会加入世 帯率(%)	82.0	82.1	82.0	81.2	81.5	85.0	96%	地域協働を推進するために区会や自治会は必要不可欠な組織であり、自治会担当職員が積極的な支援を行い、魅力あるコミュニティ活動を促進していく。自治会運営の指針として「自治会ハンドブック」を作成配布するとともに、自治会集会所の建替えについても支援していく。

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(4) 地域に身近で効率的な役場づくり(自治体経営)	財政力指数	0.369	0.374	0.384	0.395	0.399	0.380	105%	自治体経営改革プランの進捗は概ね順調である。町税徴収率は、景気低迷による低下が危惧されるが厳格な徴収事務により現状維持につとめている。職員研修を定期的に行うことで職員力の強化に努めるとともに引き続き、人事評価により能力成果主義による人材育成に取り組む。新たに22年度より土曜開庁窓口を実施し、窓口サービスの向上に取り組む。
	町税の収納率(%)	99.1	99.0	98.9	98.9	98.8	99.5	99%	
(5) 積極的に交流する風土づくり(都市交流・地域間交流・広域行政)	関東松川の会・関西松川の会・中京松川の会会員数(名)	2,120	2,112	2,113	2,103	2,100	2,300	91%	各地区の松川の会に委嘱した「ふるさと大使」との連携により、町のPRを積極的に行う。中京地区の松川町の会復活に向け準備を進める。北部地区総合事務組合による5町村の連携は引き続き推進していく必要がある。

第2章 あたたかな育みの輪をひろげる まち

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(1) 次世代の担い手を育てる環境づくり(次世代育成)	合計特殊出生率	1.56	1.41	1.29	1.44	1.43	1.56	92%	少子化対策と子育て支援の基本計画として、次世代育成支援行動計画後期基本計画を策定した。めばえ支援は補助率等を大幅に増額し治療費のほぼ全額を助成する。結婚支援については、21年度新規事業の支援セミナーを引き続き開催するとともに愛ねっと北部や結婚相談員との綿密な連携を図っていく。
	30歳～39歳の未婚率(%) ※1,2	男性	31.1	34.4	34.4	34.4	31.1	90%	
		女性	13.5	16.9	16.9	16.9	13.5	80%	
(2) 地域で支える子育て環境づくり(子育て支援)	子育て支援C・子育てS利用者数(人)	5,600	8,699	8,277	8,127	7,608	5,800	131%	子育て支援センターによる育児支援に取り組むとともに保育料第3子以降無料化や医療費無料化など経済支援を引き続き継続する。22年度より高校生まで医療費無料化を拡大する。児童館利用者増に対応するため、施設整備等を含め体制や利用料の検討が必要となっている。北名子と中央保育園の統合を踏まえた整備計画策定を早急に進める。
	保育サポートの活動数(回)	65	167	150	44	106	80	133%	
	延長保育の定員(人)	15	18	33	33	33	24	138%	
	乳幼児健康支援一時預かり施設定員(人)	-	-	2	2	2	6	33%	
	乳幼児児童の医療費受給者証交付者数(件) ※3	1,843	2,204	2,138	2,046	1,984	1,984	100%	

※1 達成率 = H22目標値/H21実績値

※2 H18=H12国勢調査数値 H19、20、21=H17国勢調査数値

※3 対象年齢の拡充は目標(中学3年生まで)に達しているため目標数値は当該年度実績と同じとする。

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(3) ”輝き”のある 人づくり (学校教育・ 社会教育・ス ポーツ)	自主企画講座 教室数(グルー プ)	2	1	1	3	3	4	75%	松川中学校の耐震補強 が完了した。引き続き北 小学校中央小学校の耐 震補強を進める。スポー ツ施設は前期整備計画 を前倒して概ね完了し た。図書館は蔵書数利 用者数とも年々増加傾 向にあり引き続き魅力 的な運営に取り組む。22年 度より管理運営を行う松 川青年の家は社会教育 施設としての利活用を進 めることで町の活性化に つなげたい。
	まつかわ大学 参加者数(人)	-	560	737	650	800	350	229%	
	図書貸出数 (冊)	73,000	86,007	86,721	92,000	97,000	78,000	124%	
	町内の少年非 行の発生件数 (件)	7	6	0	0	0	0	100%	
(4) 伝統の息づく 郷づくり (歴史・文化)	史跡解説ホラ ンティアナイト 育成講座数(講座)	-	-	6	6	-	3	0%	平成18年度より着手した 町史編纂事業(全3刊) が終了した。今後は、特 別展・企画展等資料館 運営の充実を図る。
	資料館企画展 開催回数(回)	2	2	3	3	3	8	38%	
	資料館入館者 数(人)	4,034	3,746	3,800	4,100	-	6,000	-	
(5) 心身ともに健 康なひとづくり (健康づくり・ 国民健康保 険)	国保加入者総 合(特定)健診 受診率(%)※ 4	37.9	33.1	33.6	63.2	60.3	50.0	121%	健康まつかわ21に基づ き、生活習慣病予防につ いて計画的な対策を着 実に推進していく。特定 健診は比較的受診率は 高いが、引き続き健康学 習会や結果説明会など 積極的に開催し病気予 防の意識付けにつとめて いく。国保会計は、高齢 化の進捗による医療給 付費の抑制が大きな課 題となっている。新型イン フルエンザ対策について大 きな混乱もなく予防接種 を計画的に実施した。22 年度は新たにHib・肺炎 球菌・子宮頸がんワクチ ン接種への助成を行う。
	自治会健康教 室開催数(回)	40	44	54	55	59	73	81%	
	1人あたり医療 費一般国保 (円)※1,5	162,167	181,091	186,508	215,067	231,755	162,000	70%	
	1人あたり医療 費退職国保 (円)※1	278,034	289,235	299,886	275,201	238,221	270,000	113%	
	1人あたり医療 費老人保健 (円)※1,6	576,247	617,610	694,767					
	ヘルスアップ事 業参加者(人)	-	-	66	32	25	35	71%	
国保税収納率 (%)	97.7	97.8	97.7	96.7	96.2	98.5	98%		
(6) 安心して医療 を受けられる まちづくり (医療・救急)	普通救命講習 の受講者数 (人)	28	28	30	40	26	160	16%	下伊那赤十字病院の防 災・健診センターが新設 され、災害時の対応に期 待される。また、飯伊包 括医療協議会に参画し 産科や救急医療体制の 拡充を進めていく。また、 引き続き医師確保の支 援に取り組んでいく。

※1 達成率 = H22目標値/H21実績値

※4 H20より特定健診へと移行されたため目標数値を変更。(50%→55%)

※5 H20より高確法施行のため被保険者構成が変更しています。

※6 H20より後期高齢者医療制度に移行しています。

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(7) 支えあう福祉 のまちづくり (地域福祉・ 高齢者福祉・ 障がい者福 祉)	介護予防特定 高齢者(人)※ 1	181	181	176	152	99	100	101%	地域包括支援センター「きずな」は、介護予防の取り組みの拠点として円滑な運営に取り組んでいる。今後も幅広い分野で支援をする必要がある。障害者地域活動支援センターは22年度より一部運営委託を行い、適切なサービス提供に取り組む。地域福祉計画の見直しについては、22年度総合計画後期計画策定と連携し1年前倒して策定を行う。
	要援護者支援 制度登録高齢 者(人)	65	170	369	365	375	400	94%	
	介護者の会と の話し合い回 数(回)	3	3	1	1	1	2	50%	
(8) 男と女が共に 取り組むまち づくり (男女共同参 画)	女性役員のゼ ロ自治会の割 合(%)※1	63.0	40.5	40.5	31.5	28.4	50.0	176%	男女共同参画プラン推進会議機関紙の発行を行うなど新たな展開を行った。また、男女共同参画推進プラン見直しについては、総合計画後期計画策定と連携し22年度に次期プランを策定する。
	町の審議会の 女性委員の割 合(%)	14.5	21.3	20.4	15.6	15.6	20.0	78%	

第3章 次世代の環境づくりに取り組む まち

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(1) 豊かな自然と共 生するまちづ くり (自然環境)	太陽光発電施 設設置数(基)	71	79	70	95	130	100	130%	松川町役場地球温暖化防止実行計画を策定した。公共施設への太陽光発電施設設置等により役場自身の取り組みを進め、地域全体へとつなげていく。住宅の太陽光発電については国補助と町補助により設置数が増加した。
(2) 美しく住みよ い環境づくり (環境美化・ 環境衛生)	狂犬病予防注 射摂取率(%)	93.6	95.9	97.0	96.3	97.0	100.0	97%	新たに町営墓地の造成に着手する。北部地区総合事務組合を中心に推進してきた火葬場建設は、組合側の一方的な理由により残念ながら町内候補地が破談となった。町民の生活に直接影響を与える大きな広域行政課題であり、北部町村の連携が必要である。
	町営墓地の整 備区画数(区 画)	578	578	578	578	578	620	93%	
(3) 環境にやさし い暮らしを育 むまちづくり (循環型社 会)	再資源化率 (%)	37.3	38.2	41.9	42.2	42.5	50.0	85%	自治会へのごみ説明会の実施するなど分別について注意喚起を行っている。21年度よりスタートしたフードリサイクル事業は実施地区の拡大を図り、生ごみ処理を拡大し、燃えるごみの減量化につとめる。
	燃やすごみ処 理量(t)※1	1,707	1,650	1,527	1,446	1,401	1,400	100%	
	最終処分場搬 入量(t)	-	-	130	104	100	80	125%	

※1 達成率 = H22目標値/H21実績値

第4章 活性化を高める まち

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(1) 地域をまるごと楽しめる観光づくり (観光)	松川IC1月当たり平均利用台数(台)	136,531	144,213	153,754	155,649	155,767	138,500	112%	松川町交流センター「みらい」を拠点に果物観光及び観光案内を行う。まつかわの里温水プールは清流苑との相乗効果などで利用増を図る。施設改修については、安全を最優先する中で、必要最小限の改善を行う。
	清流苑入湯者数(人)	125,406	144,007	143,756	143,556	143,265	126,000	114%	
	清流苑宿泊者数(人)	22,759	22,382	22,429	22,353	20,239	24,000	84%	
(2) 付加価値の高い農業づくり (農業・グリーンツーリズム)	認定農業者数(人)	115	117	119	125	126	130	97%	松川町交流センター「みらい」を拠点に都市と農村の交流、農業支援等について事業展開を行っていく。遊休農地対策ではモデル事業としてサツマイモの栽培に取り組み、21年度焼酎「小八郎」の販売につなげた。遊休農地は増加傾向にあり今後も具体的・有効的な対策の推進をしていく必要がある。
	非耕地面積(ha)※1	203	205	205	205	205	200	98%	
	農業体験旅行受入生徒数(人)	998	970	965	1,046	958	1,200	80%	
	ワーキングホリデー参加者(人)	15	46	64	108	83	30	277%	
(3) 地域に密着した商業づくり (商業)	町内滞留率(%)	19.2	20.4	20.4	20.4	17.6	20.0	88%	近隣の大型店舗やインターネット通販など商業に対し厳しい環境下であるが、地元滞留率向上のため、ぺっかん楽市など商店街のイベントを支援していく。また、商工会との連携で商業振興につとめる。
	年間商品販売額(万円)	1,589,090	1,654,834	1,554,667	1,554,667	1,550,000	1,600,000	97%	
	マークンカード年間発行額(万点)	2,252	2,211	2,259	1,846	1,780	2,260	79%	
(4) 力強い企業を育む工業づくり (工業)	工業製品出荷額(万円)	2,957,144	3,172,958	3,595,800	3,175,963	3,200,000	3,500,000	91%	工場等設置事業補助金や中小企業融資を拡充し、中小企業者を支援している。企業誘致サポーターの設置による企業誘致に取り組んでおり、22年度は松川IC企業団地の設計に着手する。
(5) 森林の恩恵を次世代につなぐ森林づくり (林業)	間伐面積(ha)	40	45	50	50	50	50	100%	森林づくり県民税による、松くい被害木伐倒駆除や森林整備計画に基づいた事業推進を図る。また、有害鳥獣駆除には、猟友会が必要不可欠であり、協調して進める。
	松くい虫防除事業(伐倒駆除量)(立米)	350	310	364	424	415	300	138%	

※1 達成率 = H22目標値/H21実績値

第5章 安心して住める基盤のある まち

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(1) 計画的な土地利用にもとづくまちづくり (土地利用・景観)	景観サポーター登録(人)	4	4	4	4	4	10	40%	松川町独自で景観サポーターを設置し、屋外広告物及び景観について点検している。今後も緑豊かな果樹園地帯など町の特性を生かした土地の有効利用を進める必要がある。
(2) 暮らしを支える交通環境づくり (道路・公共交通)	都市計画街路整備事業改良率(%)	57.0	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0	100%	地方道路整備事業や、まちづくり交付金事業により、計画的な道路整備を行っている。今後も幹線道路網計画に基づき、着実に整備を進めていく。公共交通システムは、利用促進が課題となっているが実証運行により持続可能なシステムを検討構築していく。
	町道道路改良済延長(m)	164,700	166,157	168,246	166,157	168,246	174,700	96%	
(3) 地域性のある憩いの場づくり (公園・緑地)	一人当たり都市計画公園整備面積(m ²)	5.0	5.0	5.0	8.8	9.0	7.0	129%	21年度に供用開始したむらやま公園へ景観等に合った遊具設置を行う。公園施設等は、適切な維持管理に努め、町民と協働して利活用を図っていく必要がある。
(4) 清流と水面が映える郷土づくり (河川・水辺)	片桐松川整備延長(m)	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	93%	中小河川整備を促進し、災害に強いまちづくりを推進する。また、河川愛護にも地域団体等との協働により実施し、環境保全に取り組む。
(5) 安心な水を安定して供給する環境づくり (上水道)	布設替未施工延長(m)※1.2	4,800	4,250	9,300	8,021	5,552	4,442	80%	老朽管布設替計画に基づき、工事を計画的に進め、福与地区については21年度繰越事業をもって完了する。また、未収金の縮減、有収率向上につとめる。
	過年度料金未収金(千円)※1	2,285	2,275	1,825	1,956	2,350	1,800	77%	
	有収率(%)	91.2	92.0	91.2	91.1	92.0	93.0	99%	
(6) 生活環境を向上させるまちづくり (下水道)	下水道加入率(%)	61.8	67.4	73.5	75.4	76.3	80.0	95%	健全経営に向けた汚泥減量化等の検討を行った。加入率は70%を超え伸びは少ないが、公共水域保全のため今後も引き続き加入促進に取り組む。
	合併浄化槽設置率(%)	66.9	69.3	70.0	71.3	72.6	75.0	97%	

※1 達成率 = H22目標値/H21実績値
 ※2 H19より総延長見直しのため、目標数値を変更

施策(分野)	指標名(単位)	H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22目標	達成率	総合評価と今後の方向性
(7) 火災や自然 災害に強いま ちづくり (消防・防災)	自主防災組織 数(団体)	31	33	45	71	75	81	93%	自主防災組織の設置が 進んでおり、組織育成の 支援を行っていく。本年 度ハザードマップを作成 し、今後は土砂災害防 止に向け啓発活動を進 める。引き続き、一般家 屋や公共施設の耐震補 強の推進に取り組む。
	非常時備品の 整備 毛布 (枚)	200	300	400	700	700	500	140%	
	非常時備品の 整備 アルファ 米(食)	1,000	1,500	2,000	2,500	2,500	2,000	125%	
(8) 若者が定住 したくなるま ちづくり (宅地・住宅)	土地開発公社 宅地分譲区画 数(区画)	176	176	182	181	185	195	95%	20年度に設置した定住 対策室を中心に人口増 定住対策に取り組んでい る。宮ヶ瀬住宅地は低 価格の宅地分譲であつた が経済状況もあり10区画 が残っている。
(9) 交通事故や 犯罪のない地 域づくり (交通安全・ 防犯・消費者 保護)	シートベルト着 用率(%)	93.0	94.7	97.5	98.5	98.6	98.0	101%	交通安全施設として、本 年度学校周辺へ歩行者 優先レーンを実施した。 防犯灯についてはLED化 に21年度繰越事業により 取り組んでいる。青色パト ロールは参加団体が広が りつつあり今後も引き続き 実施していく。消費者の 会を中心とする消費者保 護対策は高齢化社会を 迎え事件防止に未然に 取り組む必要がある。
	交通事故数 (件)※1	37	58	53	36	43	30	70%	

※1 達成率 = H22目標値/H21実績値